



▲ 構成支部全組合員の団結で労働条件の向上を勝ち取ろう



▲ 染委員長から激励をいただいた

流域で確立するところまできました。とりわけ、前年度踏襲を当然にしてきまし

活気ある活動を進めよう

第五地連2017年度年次総会

斎藤宏常任委員（足立）を総会議長に選出し、主催者を代表して星野議長より「青年部の活動再開も踏まえ、さらに活気ある地連を日指して活動を進める」とあいさつし、総会が始まりました。来賓を代表して、染中央執行

う」と連帯の挨拶をいたしました。

4月27日、2017年度年次総会をユートリヤで開催しました。各支部から選出された代議員の積極的な討論によって、地連活動の更なる充実を図るための方針を確立することができました。役員については星野議長、岩井事務局長を中心とした体制があらためて確認されました。

総括を踏まえ一步一步前進を

總括を以て、予算案も確認されました。

2018年度役員体制

議長	星野	友和	(葛飾)
副議長	山下	秀則	(江戸工)
	萬崎	匡宏	(江戸川)
	斎藤	幸司	(墨田)
事務局長	岩井	義治	(葛飾)
"次長	小菅	正一	(江東)
会計	斎藤	幸司	(※兼務)
常任委員	斎藤	宏	(足立)
	橋本	仁一	(足立)
	島田	晃治	(江戸川)
	梶谷	将二	(江東)
	佐々木	勲	(墨田)
	中村	弘史	(葛飾工)
	福士	智雄	(江東工)
	池田	直喜	(墨田工)
会計監事	三本	和利	(足立)
	飯山	明弘	(足立)

踏まえ一歩一歩前進を
しました。九年
前に確認したも
のを見直しして
こなかったこと
から、場合によつ
ては行動参加者
が持ち出しになつ
てしまふという
実態を踏まえ、
本部に習い1時
間あたり800
円の補償とした
うえで交通費は
実費を弁償する
という改正です
これらを適用し

昨年度から残念ながら
それが崩れており、
た、議長・事務局長
要職をいずれも葛籠部に担つていただく
いうあつてはならぬ状況となつています。
役員を経験する機会を失うということは。
連だけではなくその部にとつてもマイナスとなつてしまふもの
す。支部だけに責任を押し付けるのではなく、課題や悩みを地連合

で共有・改善を進めながら、あるべき地連体制に一刻も早く戻れるよう三役の責任で取り組みを強化していきます。

最後に、引き続き地連を引っ張つていただくことになった星野議長の力強い団結がんばろうで総会を成功裏に終了することができました。今後も地連活動への結集とご協力をよろしくお願ひします。

てしまつた各活動の予算と決算を毎回常任委員会でしっかりと検討・報告を行い、透明性・納得性のある会計執行を行うことを明らかにしたもののです。



▲地連の先頭に立つ星野議長



▲ 新常任委員の橋本さん

第89回日比谷メーデー

団結で生活と権利を守ろう



5月1日、日比谷メーデーに第五地連から106名の組合員が結集しました。照りつける日差しのなかでしたが整然と集会に参加し、元気にシユプレヒコールをあげながら銀座をデモ行進しました。事前には12年ぶりに活動を再開した青年部の主催で学習会を開催し、歴史と意義を学んだうえでメーデーに結集をすることができました。



▲ 田口書記次長から春闘情勢を学んだ



▲ 会場を埋め尽した60名の組合員

3月27日、「2018年春闘討論集会」をユーテリヤで開催しました。

「常任中央執行委員会を補完する組織」と位置付けられた地連の役割の一環として、この一年間、各区の交渉経過や妥結状況を共有し、交渉強化に繋げる会議体の充実を図ってきました。2018年度の作業計画・人員計画交渉は「交渉担当者会議」として、文字通り実務を担っている担当中執と支部書記長に参集いただき、交渉の序盤と妥結後に会議を行い、それぞれの経過と総括、そして今後の展望を共有することができました。今回の春闘討論集会では、その要点を各担当中執から各支部組合員に報告する形の集会としました。

本部より田口書記次長にお越しいただき、春闘情勢を含めた挨拶を受け、各区・一組報告を行いました。時間の関係で特徴点のみの報告となりましたが、交渉の経過と総括を全体で共有することができました。各区・一組の交渉強化に活かし、労働条件の向上を勝ち取りましょう。

経過と総括を共有し交渉強化へ

▼2018年春闘討論集会▲